

ホームページやブログ、SNS…情報発信のための様々なツールがあります。今回はSNSについて、特にみなさんが良く利用されているLINEを中心に紹介します。

様々なサービスがありますので、役員間の連絡や地域への情報発信など、目的に合わせて選択しましょう。

SNSとは

ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略

会員登録をすることで、情報を発信したり、会員同士でコミュニケーションをとることができます。
リアルタイムで情報を伝えられることが大きな特徴です。

X、Instagram、Facebookなど代表的なSNSの特徴をご紹介します。

	ユーザー傾向	特徴
LINE	・国内ユーザー：約9,500万人 ・ほぼ全世代が利用 ・60～70代の利用者も多い	・家族や友人間の連絡に使用されることが多い ・通話もできる ・個人に直接情報を送ることができる
X (Twitter)	・国内ユーザー：約4,500万人 ・20代が中心	・文章が中心 ・写真や動画も投稿可能 ・拡散されやすく、リアルタイム性が高い
Instagram	・国内ユーザー：約3,300万人 ・10～20代が中心 ・女性が多め	・写真や動画などビジュアルが中心 ・ハッシュタグ（#）で情報の検索が可能
Facebook	・国内ユーザー：約2,600万人 ・30～40代が中心 ・男性が多め	・写真と文章で投稿 ・シェア機能があり、情報の共有がしやすい ・ビジネスでの利用者が多い
TikTok	・国内ユーザー：約950万人 ・10～20代が中心	・15秒～3分までの短い動画が中心

＼情報を見てもらいやすくなる！／

プッシュ通知

SNSのアプリでは、プッシュ通知が設定されています。

プッシュ通知とは、利用者のスマホやタブレットなどに直接送られる通知のこと。

ブログやHPは、新しい情報があるかどうかをそのページまで確認しに行く必要があります。

SNSを利用すると、お知らせや更新の通知が端末に届き、ロック画面にも表示されるため、利用者に情報が届きやすくなります。



SNSを活用する

各SNSを閲覧するには、アカウントが必要になります。

また、最初の表にも示したとおり、サービスごとに利用者層が異なるため、情報が届く層が異なります。たくさん種類があり、どれを使うべきかお悩みかもしれません。

無理してすべてのSNSを利用する必要はありません。

「利用者が多いならLINEを使ってみようか」

「若い人たちや子育て世帯にも見てほしいからInstagramを使ってみようか」

など、自治協議会や自治会・町内会の状況に合わせて、利用するサービスを選んでいくことが大切です！

例えば…

◆ブログと併用する

ブログで記事を更新



LINEなどで更新のお知らせ



プッシュ通知がいく



記事を見る



という流れをつくることで、より多くの人にブログの記事を見もらうことができます。

◆InstagramとFacebookを連携して使う

InstagramとFacebookはどちらもMetaという会社が運営しています。

そのため、両アカウントを連携させることで同じ投稿を掲載することができます。

そうすることで、一度の投稿で

Instagramの利用層 10～20代

Facebookの利用層 30～40代

どちらにも情報を発信することが可能です。

LINEでできること

LINEとは？



ユーザー同士で、無料でチャットや音声・ビデオ通話が楽しめるコミュニケーションアプリです。

月間アクティブユーザー 9,500万人以上（2023年3月末時点）で、スマホを持つ人の多くが利用しているアプリです。

LINEを使うメリットは？

○幅広い世代で利用されている

10～60代で8～9割以上

70代でも72%が利用

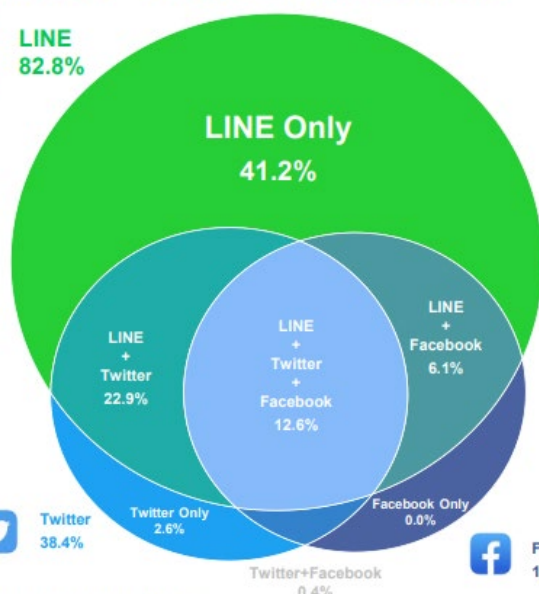
○画面の見方や操作に慣れている人が多い

「他のSNSはよくわからないけど、LINEは普段から使っている」という人が多いです。

普段スマートフォンで利用しているSNS



LINE
82.8%



Twitter
38.4%



Facebook
19.6%

インターネット調査（2022年7月実施/全国15～69歳のスマートフォンユーザーを対象 サンプル数20,000）
『LINE Business Guide』
LINE株式会社マーケティングソリューションカンパニー
2023年4月～9月期版 v1.2より

※どのサービスも非利用：10.6%

1. グループトーク

役員間の
連絡に

家族、友人間や仕事のメンバーなど、複数人でやりとりをするときに利用されています。
地域活動でも、すでに役員間のやりとりに利用されているところも多いのではないのでしょうか。

できること

- ・写真・ファイルの共有
会議の資料や行事の写真を簡単に共有できます。
- ・イベント機能でスケジュールを共有
- ・参加人数は最大500名
- ・グループ内のやりとりは、メンバー全員が閲覧できます

注意点

- ・自分のアカウントで登録する必要がある
- ・グループ内の誰かと友だちになっていないと参加(招待)できない。

友だちに一齐送信／

2. LINE公式アカウント

友だち登録をしている人に一齐に情報を送信することができます。
自治体の情報発信や企業のPRなどにも利用されています。

回覧板の
代わりに

イベント情報
などの発信

できること

- ・一齐送信
友だち登録をしてもらった相手に、メッセージを一齐に送信することができます。
- ・複数人で管理
管理者を設定でき、複数人で管理が可能
- ・一対一でやりとり
チャット機能で個別にやりとりをすることができます。
- ・自動で応答するメッセージを設定
よくある質問への回答などは、自動で返信するよう設定できます。

注意点

一部無料で使えますが、月に送信するメッセージ数によって費用がかかります

	コミュニケー ション プラン	ライト プラン	スタンダード プラン
月額 (税別)	0円	5,000円	15,000円
無料メッ セージ通 数(月)	200通	5,000通	30,000通

石丸公民館 LINE公式アカウント



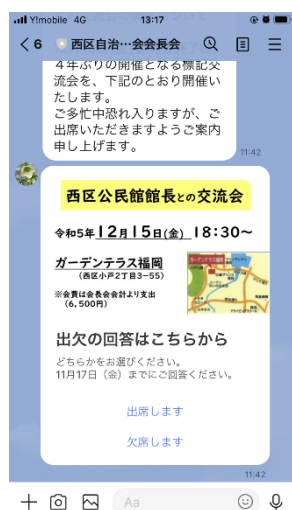
リッチメニューを設置して、
情報にアクセスしやすく
しています！



自治協議会会長会 LINE公式アカウント



自治協議会会長会の
アカウントができました！
個別のメッセージの
やりとりも可能なので、
ぜひご利用ください！



／ニックネームでも参加できる／

3. オープンチャット

役員間の
連絡に

回覧板の
代わりに

イベント情報
などの発信

趣味や共通の話題でつながり、トークができるサービスです。
自治会・町内会の掲示板としてトークルームを作成し、活用をしているところも増えてきています。

👉 できること

- ・写真・ファイルの共有
- ・イベント機能でスケジュールの共有
- ・管理者を設定でき、複数人で管理が可能
- ・参加人数は最大5,000名
- ・普段のLINEアカウントと分けて使える
トークルームごとに専用のアイコンとニックネームを設定できるので、匿名性が保たれます

👉 注意点

- ・一対一でやりとりはできない

Q.「オープン」ってことは誰でも参加できるの？

トークルームに参加コードを設定したり、管理者の承認制にすることで、地域の方のみが参加できるようにできます。

→参加コードを回覧板などでお知らせしましょう



「ふくコミ」更新中！

福岡市地域コミュニティサイト「ふくコミ」の
西区インフォメーションページでは、
地域の行事や取組をご紹介します。

9～11月は**33**件の記事を掲載しました！
右のコードを読み込み、ぜひご覧ください。

引き続き、各自治協議会や自治会・町内会の
行事や取組を掲載していきますので、ぜひ情報をお知らせください！

ふくコミ
福岡市地域コミュニティサイト



「ふくコミ」への
アクセスはこちらから！
<https://fukucomi.city.fukuoka.lg.jp/>

【連絡先】

西区 地域支援課(西区役所3階 55番窓口)

地域広報アドバイザー 藤野ゆかり

電話：092-895-7036

メール：fujino.y10@city.fukuoka.lg.jp

もっと詳しい内容や
導入事例を知りたい！
など、なんでもお気軽に
ご相談ください！

